

九条の丘(射撃場)

海軍航空隊時代に築かれた人工の丘で、反対運動のシンボルの一つ。1978年から新一坪運動を行い、500名超の地主がいる。1976年に「自衛隊は憲法違反」の大看板を設置し、2022年に更新した。基地が丸見え。



平和農園

基地隣接地を開墾し、サツマイモなどを栽培した。1994年からは田んぼに転換し、米づくりを行ってきたが、現在休止中。



平和公園がきれいに!

2016年から「百里作業チーム」が発足し、「平和公園」と「九条の丘」の整備・管理作業を行ってきた。2019年からは「百里の会」が維持管理作業を引き継いだ。除草作業、建物の補修などによって、平和公園はきれいになり、九条の丘の「自衛隊は憲法違反」の大看板もよく見えるようになった。



騒音

年間2万回

戦闘機が飛び交い、さらに旅客機まで加わり、激しい騒音が。

茨城空港

軍民共用



2010年3月に開港。550億円かけて建設し、年間10億円以上もつぎ込んで維持している茨城県。「ターミナルビル」は、平和公園の目の前。民間空港といっても百里基地内にあるので、管制や管理は自衛隊が行う。民間機は茨城空港開港時に増設された西側の滑走路を、自衛隊の承認を受けて使用している。2本の滑走路の間隔も通常より狭く、危険で金食い虫の欠陥空港である。

航空自衛隊・百里基地

2016年にF15戦闘機の飛行隊がF4ファントム戦闘機の飛行隊に代わり、さらに2020年度までにF4が退役し、F2戦闘機と交代した。また2019年度に偵察飛行隊が廃止された。毎日激しい訓練が行われている航空自衛隊の実戦基地である。「首都防空の基地」とされているが、首都圏にある横田・厚木・横須賀などの米軍基地の防衛も重要な任務である。1989年からは日米共同使用基地となり、2007年からは沖縄の負担軽減に伴う米軍機の訓練移転基地となった。2021年にはオスプレイの訓練基地になった。



海兵隊(岩国)のFA18

平和公園

基地のど真ん中であって、誘導路を「くの字」に曲げている反対運動の拠点。百里稲荷神社、展望台、日本山妙法寺の石塔とお堂、一坪運動地、平和地主運動地などがある。1989年に百里平和公園として整備された。



初午まつり

毎年2月11日に百里基地反対同盟の主催により、平和公園で開催され、県内はもとより全国から400人以上が集まる。百里平和稲荷の御神酒を酌み交わし、平和の誓いを新たにしている。



訪問、大歓迎

いつでも訪問、大歓迎です。平和公園も九条の丘も案内します。作業参加も歓迎します。



増設滑走路

従来の滑走路

弾薬庫

基地正門

管制塔

基地格納庫群

平和公園

弾薬庫

基地裏門

平和公園入口

アラートハンガー(緊急発進用格納庫)

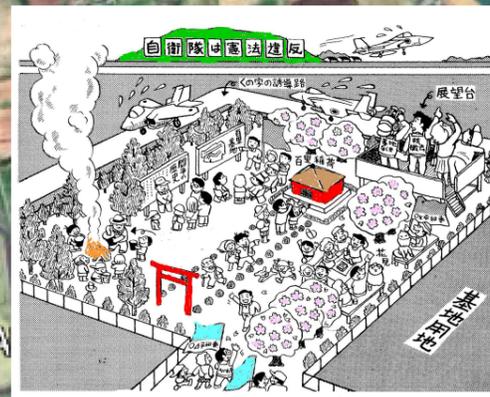


Image © 2024 A